

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「GIS共通サービス利用機能を備える製品」 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

※記入上の注意(詳細な記入ルールは、「チェックリスト記述説明」シートを参照してください)

オレンジ色網掛けセルは、必ず記入してください
黄色網掛けセルは、必要に応じ記入してください

APPLIC 登録番号:

K000528-0060

★APPLICで記載

※赤字部分は、V3.9からV4.0の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2025

- ・GIS共通サービス標準仕様V3.2
- ・プラットフォーム通信標準仕様V3.4

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日):

2025年12月23日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄):

新規

(c) 申請者

団体名:

株式会社パスコ

★識別キー項目1

(識別キー項目3つで
ユニークになるように
申請者が指定する)

団体のURL:

https://www.pasco.co.jp/

APPLIC会員番号:

K000528

(d) 製品情報

代表製品名:

わが街ガイド

★識別キー項目2

製品説明のURL:

https://www.pasco.co.jp/biz/app-soft/wagamachiguide/

(オプション)

複数製品で構成する場合は追記:

(オプション)

複数製品で構成する場合は追記:

(オプション)

複数製品で構成する場合は追記:

(オプション)

製品識別情報(バージョン等):

Ver4.0

★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日):

2025年12月18日

対応OS:

Windows Server 2016

製品の形態((1)型から(3)型):

(1)型

製品単品
(PF通信内部実装型)業務処理製品
(GIS共通サービス
利用機能)
(PF通信処理)

(1)型

製品分離型
(前提PF通信製品)業務処理製品
(GIS共通サービス
利用機能)

PF通信製品

(2)型

製品分離型
(前提PF通信
製品(他社))業務処理製品
(GIS共通サービス
利用機能)

Y社PF通信製品

(3)型

前提となるPF通信製品(オプション)

前提PF通信製品名:

※1

前提PF通信製品名:

※1

※1 (2)型から(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

製品のカテゴリ:

GISユニット

ユニット番号	ユニット名
17	乳幼児医療
18	ひとり親医療
50	財務会計
51	庶務事務
52	人事給与
53	文書管理
GS	GISユニット
AB01	防災情報共有ユニット

(e) 製品のクラウドでの提供について 提供の有無:	構築実績あり&サービス提供中
参考となる情報(オプション):	自社のSaaS、PaaSでサービスを提供している。
対応可能なネットワーク(オプション)	
LGWAN:	対応可能
専用線(閉域網):	
インターネット:	対応可能

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

◎: 対応、○: 制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)

番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品・システム 確認	APPIC 確認欄
1	GIS共通サービス利用機能 (地名辞典サービス)	GISユニットが提供する地名辞典サービスのサービスインターフェースを呼び出すことができる	必須	◎	○
1-1	地名辞典サービスの基本機能	次に示すGISユニットが提供する機能(サービスインターフェース)を呼び出すことができる ただし、“選択”の機能の提供は任意で良い	必須	◎	
1-1-1	地理識別子検索機能	地理識別子検索機能を呼び出せること	必須	◎	
1-1-2	場所インスタンス取得機能	場所インスタンス取得機能を呼び出せること	必須	◎	
1-1-3	場所インスタンス登録機能	場所インスタンス登録機能を呼び出せること	選択		
1-1-4	場所インスタンス更新機能	場所インスタンス更新機能を呼び出せること	選択		
1-1-5	場所インスタンス削除機能	場所インスタンス削除機能を呼び出せること	選択		
1-1-6	サービスメタデータ取得機能	サービスメタデータ取得機能を呼び出せること	選択		
1-2	地名辞典サービスの場所インスタンス 関連機能	次に示す機能(サービスインターフェース)を任意で呼び出せること	選択		
1-2-1	地理識別子変換機能	地理識別子変換機能を呼び出せること	選択		
1-2-2	場所インスタンス関連検索機能	場所インスタンス関連検索機能を呼び出せること	選択		
2	GIS共通サービス利用機能 (地図表示サービス)	GISユニットが提供する地図表示サービスのサービスインターフェースを呼び出すことができる	選択	◎	
2-1	地図表示サービスの基本機能	次に示すGISユニットが提供する機能(サービスインターフェース)を呼び出す ただし、“選択”の機能の提供は任意で良い	条件付 必須(※1)	◎	
2-1-1	地図画像取得機能	地図画像取得機能を呼び出せること	選択		
2-1-2	地図画像URL取得機能	地図画像URL取得機能を呼び出せること	条件付 必須(※1)	◎	
2-1-3	凡例画像取得機能	凡例画像取得機能を呼び出せること	選択		
2-1-4	地物情報取得機能	地物情報取得機能を呼び出せること	選択		
2-1-5	サービスメタデータ取得機能	サービスメタデータ取得機能を呼び出せること	選択		
2-2	地図表示サービスの主題図機能	次に示す機能(サービスインターフェース)を任意で呼び出せること	選択		
2-2-1	主題図画像取得機能	主題図画像取得機能を呼び出せること	選択		
2-2-2	主題図画像URL取得機能	主題図画像URL取得機能を呼び出せること	選択		
3	PF通信機能	PF通信標準仕様のPF通信機能を持つこと	必須	◎	○
3-1	SOAP通信	PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと	必須	◎	
3-2	XML処理および共通ヘッダ処理	PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、プラット フォーム通信標準仕様として公開されるXMLスキーマにて定義される共通 ヘッダの処理ができる	必須	◎	
3-3	XML処理および共通ヘッダ処理	PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レス ポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること	必須	◎	

注(※1):「2 GIS共通サービス利用機能(地図表示サービス)」を提供する製品として登録する場合、必須機能である。

備考欄(前提条件や制限事項について、「製品・システム確認」欄の○についての説明を記載してください)(オプション)